

農事組合法人ふるさと信州

主な取扱品目

レタス・キャベツ・
ミニ白菜・佐久の殿
様ねぎ・ブルー

視察日：2011年8月11日

所在地：長野県佐久市三河田

設立年月日：1996年6月

生産者数：16名



生産者の六川さん



平嶋さん

佐久りんご産直組合

主な取扱品目

サンツがる・紅玉・サンジョ
ナゴールド・シナノスイー
ト・王林・サンふじ

視察日：2011年8月11日

所在地：長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬

設立年月日：1981年

生産者数：3名



中島さん親子



桜井さん

樹上で完熟してから収穫するりんご

佐久穂町は、長野県中東部に位置し西にハケ岳、北に浅間山、千曲川流域の標高600〜700mの準高冷地にあります。標高が高いため昼夜の寒暖差が大きく、りんごの実が引き締まり糖度がのります。

佐久のりんごは、農業を慣行栽培の3分の1以下に抑え、除草剤を一切使わずに栽培しています。全ての品種のりんごを無袋で栽培。『有袋』とは違う自然な栽培方法をとっています。

無袋とは日ヤケによる着色や、早い時期の葉摘みによる着色をせず、木の上で自然に色づき完熟してから収穫する方法。果実に袋かけをせず、十分な光合成の働きで、甘味も栄養分も十分なりんごとなります。しかし、太陽の光が頼りなので、着色の調整が難しく、日照によって左右されてしまいます。

りんごは採り立てが一番おいしいのですが、0℃〜3℃で保存すると風味が長

持ちします。サンツがる、秋映などの中生種は冷蔵庫に入れ、ふじ・王林などの晩生種は入れなくても良いのだとか。

一方、りんご以外の主な取扱品目であるブルーベリーは、雨が当たると実が割れてしまうので収穫の1ヵ月前からの雨除けは欠かせません。ブルーベリーにも、たくさんの種類があり、それぞれ個性があります。

ブルーベリーは完熟すると日持ちが悪くなるのですが、本物の美味しさを世に出したい、と敢えて完熟にこだわって、手間を惜しまず取り組んでいます。

一口メモ

りんごの栽培方法

有袋…袋かけによって皮膚の薄い日陰りんごを育て、収穫直前に反射板を敷いて袋を外し、急激に日光に当てることで日ヤケ=着色させて早採りする方法。

一口メモ

ブルーベリーの産地

ブルーベリーは雨により裂果が起りやすいため、比較的雨の少ない長野県が日本の生産量のおよそ6割を占めています。



雨が降ると、このように身割れます。天候に左右される作物です。



果実に袋をかけず、樹上で自然に色づいて完熟させてから収穫します。

ひとつひとつ収穫する丁寧な作業

佐久市は、長野県中東部に位置し西にハケ岳、北に浅間山、千曲川流域の標高600〜700mの準高冷地にあります。標高が高いため昼夜の寒暖差が大きく、野菜や果実が引き締まり、糖度がのった甘くて美味しいものが採れます。

主な生産物であるレタス・キャベツは、同じ時期に植えても集中豪雨などの影響で玉の成長がひとつひとつバラバラです。そのため、収穫は機械ではなく、手でひとつひとつ確かめながら拾い取りをしています。作業は、なかなかの重労働で手間も時間もかかりますが、品質の良い作物を出荷するために丁寧に取り組んでいます。

安全・安心な野菜を食べるため、農薬の使用は最小限にしています。真冬の果樹（ブルーベリー）の剪定は、気温がマイナス8℃にもなり凍えますが、来年の収穫に向けた大事な作業です。

果物は台風などで全滅するとやり直しはきかず、その年の収穫はなくなってしまうのですが、木々の手入れは来年の収穫のため変わらず行わなければならないのです。自然と深く関わり、植物という命と関わる農業の厳しさを感じました。そうした生産者の努力によって、私たちは毎年、美味しい果物をいただくことができると、改めて感じました。

一口メモ

レタスと鉄の包丁
レタスは鉄の包丁で切ると、酵素の働きで変色したり苦味が出る原因になります。洗ってから手でちぎって使しましょう！

春キャベツと冬キャベツ
春キャベツは巻きがふっくらして頭がとがっていないもの、冬キャベツは、濃い緑色で巻きが固く、ずっしり重みがあり、ツヤのあるものを選びましょう。



ブルーベリー

これから完熟まで木の上でじっくりと育てられます。



レタス

青々としたレタスが畑いっぱいに広がっています。



キャベツ

しっかり身が詰まっているか、ひとつひとつ手で確認してから収穫します。

参加理事の感想

真夏の日中、畑でキャベツ、レタスを収穫する生産者の方にお話を聞きました。その場で食したレタスのみずみずしさ、甘さ、「取り立てが一番おいしい」を実感しました。「家族が食べる物に農薬なんて撒かない、それを出荷するだけ」の言葉を聞き、感謝でいっぱいでした。

生産者より コープしがのみなさんへ

農作物の生産は気候との戦いで、毎日畑に通って、作物の様子を見て真面目に取り組むことをモットーにしています。農薬を減らし、安全な作物を作るため誠意をもって取り組んでいます。

参加理事の感想

畑で話してくださる生産者の笑顔は素敵で自信にあふれています。失敗談も笑って話してくれますが、その苦労は大変だと感じました。消費者は家計を切り詰める時、果物は真っ先に購入しない対象になるが、美味しい果物は心の栄養にもなると思いました。いろんな食べ方で果物を楽しみたいです。特に完熟木生りブルーベリーの味は格別でした。

生産者より コープしがのみなさんへ

農薬を減らし、除草剤も撒かず、化学肥料を使わず安全安心な果物をお届けすることをモットーにしています。安心して召し上がってください。